

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

農地局

農地局のSNSアカウントを新たに開設！



農地局では、TwitterとFacebookのアカウントを新たに立ち上げました。

SNSを通じて、農業農村整備や農村振興施策への正しい理解を深めるために情報発信していきます。

本県の多彩で高品質な農林水産物の生産に欠かせない基盤整備について知ることができます。

是非、フォロー&いいねをお願いします。

<Twitter>



<Facebook>



農地局農地計画課 054-221-2723

農地局

令和5年世界かんがい施設遺産申請施設の決定

(北山用水・本宿用水)

世界かんがい施設遺産の候補として、「北山用水（富士宮市）」及び「本宿用水（長泉町）」が選定され、国際かんがい排水委員会に申請されることが決定しました。

今後、審査が行われ、11月に登録施設が決まります。

◆北山用水の特徴

- ・1582年に徳川家康の命で水路を建設
- ・引水量の確保のため、河床に基盤石を敷設するとともに、刻目を入れた水量石を設置して水位を確認できる工夫が施された
- ・豊富な水量と落差を利用し、4箇所でも小水力発電を実施

◆本宿用水の特徴

- ・1601年に徳川家康の命で、天野三郎兵衛康景が「甲州流水利法」を駆使して、1603年に完成
- ・隧道水利技術や鉄のノミによる掘削技術、行燈を使う測量技術は、「深良用水」建設時の手本となった



北山用水



本宿用水

農地局農地計画課 054-221-2715

東部

自動給水栓の使用を開始しました 【三島市安久地区】



三島市安久地区では、5月31日（水）に河川からの農業用水取水が開始されました。

6月2日（金）には豪雨にも見舞われましたが、大きな被害は発生せず、無事に田植えが始まりました。

R4年度に安久地区内で実装された水田の自動給水栓装置が、いよいよ稼働し始めます。6月5日（月）、地域の農業者が管理用アプリの取り扱いや機器の調整方法について、メーカーから説明を受けました。

今後、農業者の方に実際の操作を体感していただき、普及に向けて取り組んでいきます。

東部農林事務所農村整備課 055-920-2165

富士

大倉川農地防災ダムにて6月豪雨で 洪水調節操作に備えた体制をとりました

令和5年6月2日（金）からの大雨により、大倉川農地防災ダムにて第3配備体制（洪水調節操作に備えた体制）をとりました。

2日の午後2時40分にダム管理事務所、横手沢分水工に配備を開始しました。芝川の急激な水位上昇により分流の準備に入りましたが、規定の水位を超えることなく、3日午前5時に第3配備体制が解除されました。

今回の配備では、農林事務所及び富士宮市役所職員の計17名で対応にあたりました。引き続き、洪水から農地や住宅を守るため、県と市が連携して適切なダム配備を行ってまいります。



富士農林事務所農村整備課 0545-65-2201

農地地すべり防止区域の災害防止 安全パトロールを実施



毎年、雨季を迎えるにあたり、中部農林事務所では、管内の農地地すべり防止施設の一斉パトロールを実施しています。

今年は、6月7日（水）、8日（木）に中部農林事務所職員のほか、当事務所が委嘱している地域在住の地すべり巡視員や静岡市職員も参加し、当事務所（農地部門）が整備した清水区由比地区や葵区平山地区の地すべり防止施設（排水路や地下水排除施設等）の状態を点検しました。

今回の点検結果をもとに、修繕工事や土砂排除等の作業を進め、今後の防災・減災に努めていきます。

中部農林事務所農地整備課 054-286-9278

藤守排水機場の整備・更新を行っています

焼津市藤守にある「藤守川排水機場」は、大雨時の地域水田の湛水被害を軽減させる昭和50年に設置された排水機場ですが、設置後40年以上経過し老朽化が著しいため、令和3年度から基幹水利施設ストックマネジメント事業により機器整備、更新を実施しています。

令和4年度までは調査設計のほか補修や外構工事を行ってきましたが、令和5年度から行う本格的な機器更新工事に先立って、5月14日（日）に排水機場を管理している地元組織に対し工事説明会を行いました。

工事段階に応じて操作方法が少しずつ変わるため、地元の管理組織との調整が欠かせません。

この整備により設備が長寿命化するとともに、現在の技術基準に合わせてポンプの自動起動が可能となるため、運用労力の低減が図られます。



志太榛原農林事務所牧の原用水課 054-644-9213

平時の藤守排水機場

中遠

レタスの試験栽培（大井川用水垂木地区）

農業基盤整備を計画中の大井川用水垂木地区（掛川市上垂木・下垂木）では、参入予定の法人により、レタスの試験栽培が実施されています。

農業基盤整備事業では、上垂木・下垂木地区のおよそ80haの水田を対象に、農業用水のパイプライン化、ほ場の大区画化、暗渠排水整備等、農作業効率の向上や、水田の汎用化につながる整備を行い、裏作の導入による農業生産額の向上を目指していくとともに、担い手農家への農地の集積・集約を図る予定です。

今後、地元の推進団体を中心に、農業基盤整備の計画を検討していきます。



中遠農林事務所農村整備課 0538-37-2290

西部

石綿管更新（設計段階）における打ち合わせを実施
（雄踏2期地区）

浜松市西区雄踏町では、用水管が古く、石綿管が埋設されている箇所が多数あります。

以前より、浜松市が石綿管撤去を実施していましたが、令和3年度から西部農林事務所が設計工事を実施しています。

特に、雄踏2期地区は、石綿管の漏水が多く発生しており、市と県で話し合いを行ってきました。早期に既設の石綿管を撤去し、歩道下に新たに塩ビ管を設置することで、水田農業用水を安定的に供給します。

令和5年度工事着手を目指し、今後も関係機関、地元と調整を図っていきます。



西部農林事務所農地整備課 053-458-7228